

高齢者の地域におけるリハビリテーションの 新たな在り方検討会（第1回）	資料4-1
平成26年9月29日	

平成16年高齢者リハビリテーション研究会の概要

平成16年高齢者リハビリテーション研究会について

1. 背景

- 最近の軽度の要介護者の増加を踏まえ、介護予防・リハビリテーションの確立が急務。
- 平成17年国会提出予定の介護保険法の改正案及び平成18年4月実施予定の介護報酬改定（診療報酬改定も同時期）において対応すべく、研究会を設置。

2. 高齢者リハビリテーション研究会の経緯

- (第一回) ○高齢者リハビリテーションの現状と課題について
- (第二回) ○要介護状態にならないようにする予防的リハビリテーションについて
○各ステージ毎のリハビリテーション提供体制について
○地域リハビリテーション提供システムについて
- (第三回) ○福祉用具・住宅改修の提供体制について
○利用者のニーズに応じた多様なリハビリテーション提供体制について
- (第四回) ○論点整理
- (第五回) ○ヒアリング及び報告書骨子討議

3 委員名簿 (○は委員長)

- 青井 禮子 (社) 日本医師会常任理事
- 石神 重信 (社) 日本リハビリテーション医学会常任理事
- 上田 敏 (財) 日本障害者リハビリテーション協会顧問
- 大川 弥生 国立長寿医療研究センター老人ケア研究部長
- 太田 睦美 (社) 日本作業療法士協会保険部員
- 越智 隆弘 国立相模原病院長
- 柏木 知臣 全国脳卒中友の会連合会副会長
- 川越 雅弘 日本医師会総合政策研究所主席研究員
- 木村 隆次 全国介護支援専門員連絡協議会長
- 小宮 英美 NHK解説委員
- 斎藤 正身 全国老人デイ・ケア連絡協議会長
- 坂井 剛 (社) 日本歯科医師会常務理事
- 正林 督章 島根県健康福祉部次長
- 鈴木 隆雄 東京都老人総合研究所副所長
- 浜村 明德 日本リハビリテーション病院・施設協会会長
(社) 全国老人保健施設協会常任理事
- 備酒 伸彦 兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷地域ケア課主査
- 藤田 郁代 日本言語聴覚士協会会長
- 山口 武典 国立循環器病センター名誉総長
- 山崎 摩耶 (社) 日本看護協会常任理事
- 吉尾 雅春 (社) 日本理学療法士協会神経系研究部会部長

平成16年1月 高齢者リハビリテーション研究会 報告書 【目次】

- I はじめに
- II 高齢者リハビリテーションの現状
 - 1 高齢者リハビリテーションの歩み
 - 2 高齢者の現状
 - 3 サービスの実施状況
- III 介護保険制度施行後見えてきた課題
 - 1 死亡の原因疾患と生活機能低下の原因疾患は異なる
 - 2 軽度の要介護者が増加している
 - 3 介護予防の効果があがっていない
 - 4 高齢者の状態像の一にに応じた適切なアプローチが必要
- IV 高齢者リハビリテーションの基本的考え方
 - 1 高齢者の状態に応じた対策が必要
 - 2 廃用症候群の対策の重要性
 - 3 生活を支えるという目標
 - 4 個別的・総合的なサービスの提供
 - 5 評価に基づく計画的な提供
 - 6 地域で提供できる体制の整備
 - 7 質の確保
 - 8 基盤の整備
- V 現行サービスの見直しへの提案
 - 1 生活機能低下の予防
 - 2 医療・介護におけるリハビリテーション
 - 3 地域リハビリテーションシステム
- VI 必要な基盤整備
 - 1 目標の設定
 - 2 サービス提供拠点の整備
 - 3 人材育成
 - 4 研究
 - 5 その他
- VII 国民と専門家に求められること
 - 1 国民
 - 2 かかりつけ医
 - 3 介護支援専門員
 - 4 専門職
- VIII おわりに